

## ◆ 慰霊と復興のモニュメントの概要

### ◆ 目的

平成7年1月17日未明に発生した阪神・淡路大震災は、本市においても、多くの尊い命を奪い、家屋の倒壊やライフラインの寸断など、近代における最大規模の都市災害をもたらしました。この震災により失ったものを忘れることなく、震災を記憶し、復興の歩みを後世に伝え、犠牲者の慰霊と市民への励まし、震災からの復興、大規模災害に対する世界的規模での連帯による復興の意義を内外にアピールすることを目的とします。

### ◆ 基本コンセプト

- 慰霊 犠牲者の慰霊と市民への励まし
- 復興 震災からの復興
- 連帯 大規模災害に対する世界的規模での連帯による復興の意義

◆ 設置場所 中央区加納町 東遊園地内

◆ 除幕 平成12年1月16日(日)

◆ 建設費 1億5千万円

### ◆ 建設までの経緯

慰霊と復興のモニュメントに関しては、震災直後より、この震災の記憶と復興の歩みを後世に伝えるものが必要ではないかというご意見を各方面からいただきました。

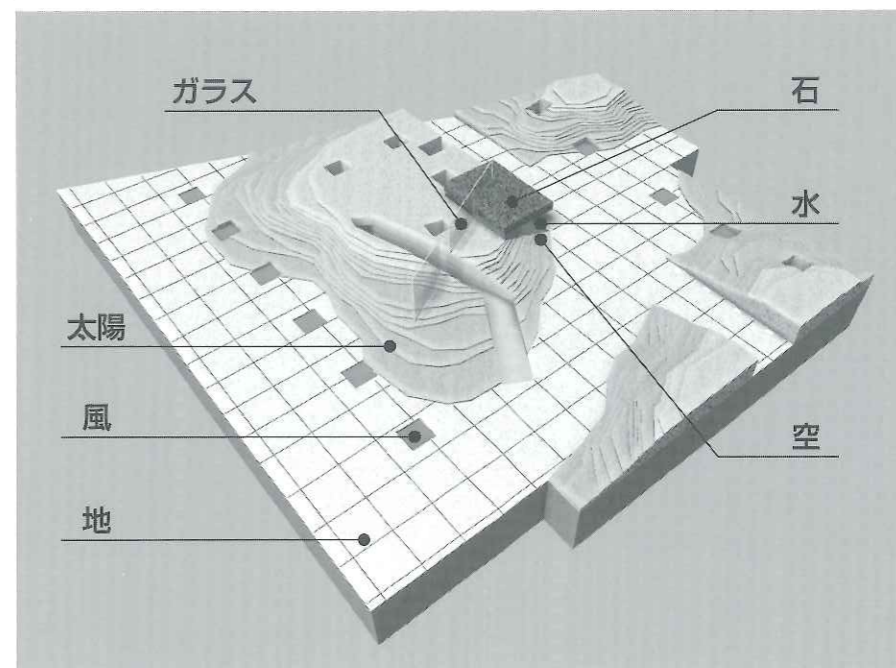
神戸市では、平成8年度に「慰霊と復興のモニュメント設置懇話会」を開催し、基本コンセプト等について検討しました。

そして、犠牲者の慰霊と市民への励まし、震災からの復興、大規模災害に対する世界的規模での連帯による意義という基本コンセプトと、設置場所は市の中心部に位置し、市民に親しまれている東遊園地がふさわしいこと、また、建設資金については、広く募金を呼びかけその浄財を活用することというご意見をいただきました。

この懇話会意見に基づき、平成9年度には、「慰霊と復興のモニュメント設置検討委員会」を開催し、指名コンペ参加作家の選定を行い、国際的に活躍する4名の作家、安藤忠雄、植松奎二、楠田信吾、福岡道夫の作品を慎重審議した結果、造形作家の楠田信吾氏の「COSMIC ELEMENTS」に決定しました。

平成10年10月には、このモニュメントの幅広い広報を通じた趣旨の普及と協力要請及び建設資金の募金活動を目的として、「慰霊と復興のモニュメント設置実行委員会」が発足し、平成11年9月まで1年間にわたり、広報及び募金活動が展開されました。

### ◆ 作品について



作品名 COSMIC ELEMENTS

作家 楠田 信吾

作品コンセプト 自然との「共生」

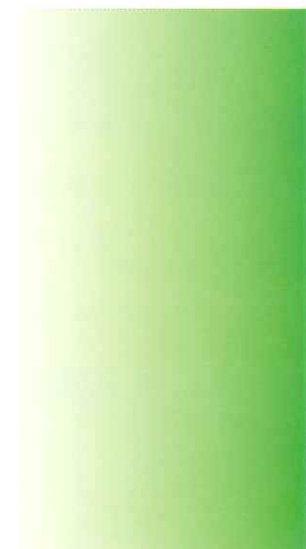
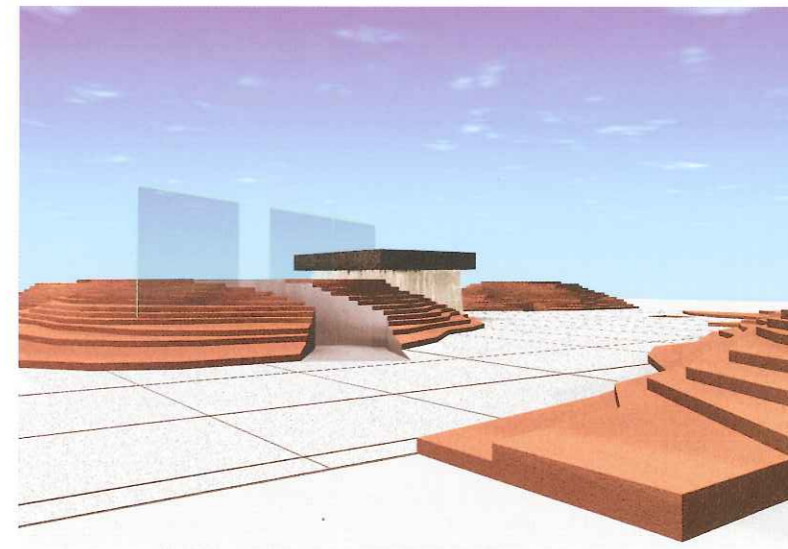
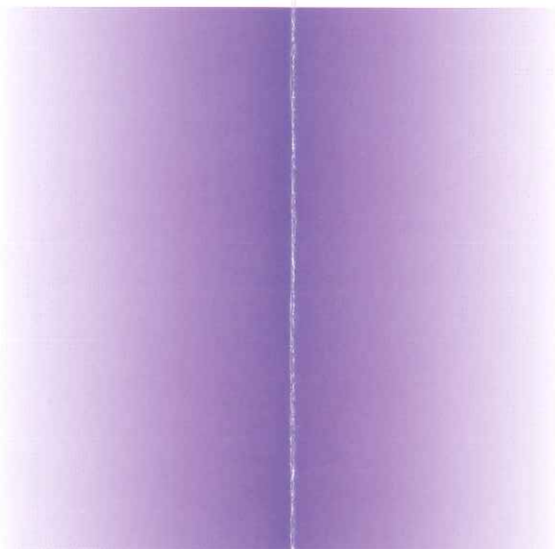
- 地 白い大地 ———— 新しく生まれる神戸の街。
- 太陽 赤い丘 ———— 生命と力の源・生命の暖かさ、持続性
- 空 メディテーションルーム — 慰霊と瞑想の場。地下より水面を通して空を仰ぎみる。
- 水 落水 ———— 水は新しい命の象徴。復興へのエネルギー。
- 風 草木 ———— 風の流れ 時の流れ
- 石 地球上の物質の象徴 — 巨石を宙に浮かせる事で人間と自然の儀式的な舞台装置となる。
- ガラス 未来を映し出す

作品の地下瞑想空間には、震災で犠牲になられた方のお名前を、又、そこへの通路には建設募金にご寄付いただいた方のお名前を明記しています。

### ◆ 慰霊と復興のモニュメント建設募金について

このモニュメントを震災に係わった全ての人、全ての企業・団体で建設しようと同実行委員会が主体となり、平成10年10月より募集され、たくさんの皆様からご協力をいただきました。同募金は、平成11年9月末をもって終了し、建設費として神戸市へ寄附されました。

募金期間 平成10年10月～平成11年9月末  
最終募金額 159,130,809円



# 慰霊と復興のモニュメント

—— 震災の記憶と復興の歩みを後世に伝えるために ——

神戸市